

## 委員および一般からの意見

委員からの流域委員会の審議に関するご意見、ご指摘（2002/1/22～2002/2/14）

2002/1/30

メール

原田委員（淀川部会）

---

### 河川管理者への質問・提案

先日時間不足等でできなかつたり、その後考えた質問事項、コメント事項がいくつかあります。簡単ですが記させていただきます。内容不明のときは、電話等でお問い合わせいただければと思います。

#### 1：モデルケースとする雨量について

最初の部会から何度もとりあげられていることであり、いまさら質問するのは、委員としてもはずかしいことなのですが、あえてさせていただきます。

現在は、28年降雨の2倍量を中心に試算結果を示されている。その際、降雨の空間分布は同じ、降雨時間も同じ（すなわち単位時間あたりにふる雨の量が倍）とされていると説明があった。2倍にするときに、そのような設定が現実的なのか？より空間的にも時間的にも分散する（広い範囲に、長い時間をかけてふる）ほうが現実的であるようなことはないか、等の懸念をもつ。気象関係の専門家のコメントがあるとありがたい。

また、「なにがおこるかかわからない」なら、「考えるためのモデルとしてどんなことを考えてもよい」というわけではないのは当然であろう。不確実性のもとで「なにはわかっている（はっきりいえる）が、なにはいえない」等を、現在の設定の現実性、モデルとしての妥当性についてのより詳細な説明とともに、示していただくのが望ましいが、それが十分にはむりであっても、その方向への努力は必要と思う。

#### 2：モデルケース計算時の森林等からの流出の設定等、各地点の流量の計算に用いられているモデルの妥当性、あるいはモデルのもつ不確実性について知りたい。

治水政策をたてるという重要な目的のためのモデルなのであるから、十分なドキュメンテーションが存在するものと想像する。くわしいことを部会で説明することは不可能であろうから、出典等をおしめしいただくとともに、この試算の弱点（不確実性）については部会でもおしめしいただければと思う。

また、試算では28年時点以後につくられたダムは考慮されているが、山の保水力の変化等が考慮されているとは言及がなかったが本当か？

#### 3：堤防のいくつかのオプションについては、コストとメリットで比較されていたが、ダムの治水面での評価も同列に比較できる部分はすべきと考える。

- 4：上野盆地関連の資料での被害軽減の示し方だが，浸水面積と深さでは，効果が小さめに見積もられることはないか。想像だが，河川からはなれた（高い）ところほど財産の集積がある可能性もあろうから。たとえば，被害額の分布地図があるといいのではないかと思った。
- 5：スーパー堤防のコストについては，スーパー堤防設置後の堤防部分の地価の上昇があるなら，それをコストから差し引く（内部化する）ことにより，より低コストになると考える。また，もし地価上昇がありながらそれを内部化しないなら，将来，批判もおこりそうに思う。参考までに，これまで施工された部分での地価の変化（周辺地の地価変化との比較）のデータを示されるといいかと思う。
- 6：前回送りました高水敷へ水をあげる問題についての情報を，次回でなくても結構ですのでお願いします。

一般からの流域委員会へのご意見、ご指摘（2002/1/22～2002/2/14）

	発言者 所属等	傍聴 希望	受 取 日	内 容
1	日本野鳥の 会 中村桂子氏	×	1/26	第 11 回淀川部会（前半：一般からの意見聴取）の進め方について 1．会議方法 会場からの意見を求める時間が設けられているにもかかわらず、委員の質問に 時間を取り、発言が出来ないのは大変不本意です。
2	佐竹孝夫氏	×	1/28	第 11 回淀川部会を傍聴した感想が寄せられました。 別紙 1 参照下さい。
3	関西のダム と水道を考 える会 浦野穩正氏	×	1/28	先日は第 11 回淀川部会において、意見発表の機会を頂戴し、ありがとうございました。 今後もこのような機会をお創りください。積極的に参加させて頂きたい と思います。 当日は、意見聴取の会に十分な時間をお割り頂いた関係から、宮本事務所長様 からの重要なテーマ（治水）の説明が駆け足のような形になったのは大変残念 でした。 再度時間をお取り頂くことは無理でしょうから、1 点だけ質問をお許し願え たらと思います。 質問内容：破堤対策の費用としてお示し頂いたコスト（約 7,500 億円ほか 2 件） の計算根拠をお示しください（計算式とその説明）。 よろしくお願い申し上げます。
4	玉木正豊氏	×	1/29	先日の第 11 回淀川部会で報告させていただいた玉木です。 会議の進め方について以下のような感想を持ちました。老人のお節介か と気が引けますが、ともあれ、ご参考までに。 1．発表時間が短かすぎる。仕方がないことではありますがこれが実感です。 1200 字の文章を 6 分で解説するのは、もともとムリです。 1．質問が特定の報告者にかたよる傾向あり。逆にいうと、質問されれば補 足説明ができます。質問を、ある程度は各人に「振る」よう、司会者の気配 りが欲しい。 1．全くのアマチュア市民は私 1 人のようでしたが、こうした場には、も っと「素人」を参加させるほうが、いいのではないですか。 1．テープから起こして発言記録とするそうですが、その場合は、発言者 に補足・訂正する手順を踏んで欲しい。 ともあれ、私には面白い経験でした。今後のご活躍を祈ります。返信のお 気遣いはご無用です。
5	大阪都島少 年硬式野球 協会 谷口準氏	×	1/30	大阪のグランド事情は野球人口やチーム数を考えると全く悲惨、と言 って過言ではない状況です。あの場所は本当に我々にとってはものすごく 貴重で、いわば生き甲斐とも言える場所です。青少年は勿論の事、大人 までもが悲喜交々、様々な思いをし、またチームを卒団していった人 達には大きな思い出の場所にもなっておりますでしょう。さる卒団生 より、「グランドがなくなれば我々が帰るところがなくなってしまう ですね」という電話も事実ありました。そう、言い換えればそこは「 コミュニティ」なのであります。1 万数千の署名の意味

	発言者 所属等	傍聴 希望	受取 日	内 容
				は、そんな我々の活動をよくご存知の人たちが、こんな素晴らしいコミュニティを守るべきだ！という応援意志の表現、ということであります。今回の計画が、本当に地域住民にとって青少年育成よりも、我々のこういった大きな思いよりも重要で、どうしてもこの場所でしか達成できない、ということでしたら我々も諦めざるを得ないかも知れません。しかし、この我々の思いなどが大変大きなものである事、および代替地が他にあるということでありましたら、淀川水系委員の皆様、および国土交通省他関係省庁の皆様、現状視察とその場での意見聴取の上、どうか今回の計画、再考を切にお願いしたいと存じます。尚、これは無論小生個人の意見ではございません。
6	浅野晴也氏	×	1/30	余野川ダムを中止して下さい。 「2001年12月3日付、大阪自然環境保全協会など7団体の余野川ダム中止要請に賛同します
7	奥中久米司氏	×	2/2	第8回猪名川部会を傍聴された感想が寄せられました。 別紙2参照下さい
8	亀岡市桂川改修促進期成同盟 古谷弘志氏	×	2/4	<p>亀岡市域の歴史は、水害との戦いの歴史である。</p> <p>戦後においても、疲弊した国土に、毎年のように風水害が襲い、昭和20年、24年、25年、26年、29年、32年、35年と桂川（保津川）沿川の地域住民の生命、財産を奪ってきたことから、沿川住民として、「亀岡市上桂川逆流防止同盟」を結成し、京都府知事に対し、「保津峡の開削」を要望するべく府庁舎に座り込みを決行した。その後においても風水害は毎年のように地域住民を襲い続けてきた。昭和46年に当時の建設省より、「淀川工事实施基本計画」が策定され、桂川については、「日吉ダムを含む上流ダム群と保津峡狭窄部上流河道改修」により河川の氾濫をなくすことで整備を進めることになり、平成10年には、上流「日吉ダム」が完成した。「河道改修」については、昭和57年出水対応の築堤工事に平成8年から京都府において着手された。</p> <p>「亀岡市桂川逆流防止同盟」としては、結成以来河川管理者に対し要望活動を続けてきたが、平成元年から「亀岡市桂川改修促進期成同盟」と名称を変更し現在まで京都府管理区間のみならず近畿整備局及び淀川工事事務所へ要請・要望を行うなど上下流区別なく改修促進活動を続けている。</p> <p>淀川の治水事業は、上流、下流域がそれぞれバランスのとれた改修計画により行われてきたものであり、下流への流出量をおさえるため、上流沿川地域住民は、自らの血を流し協力してきた。最近になって、「淀川水系流域委員会淀川部会」において、桂川の治水計画が、木津川上流狭窄部岩倉峡と同じような、「遊水池」による下流域への流出量を抑える事が適当であるかのような議論がされていると聞き及んでいる。我々としては、本来桂川の治水計画には、「遊水池」計画はなく、木津川流域と同種のものと考えられていることに対し非常に不満である。</p>

	発言者 所属等	傍聴 希望	受取 日	内 容
				また、このような下流大都市域の負担を一方的に上流域に押しつけるような議論が、上流の意見なくして行われていることは、決して許されるものではない。このような議論の場において、発言の機会が制限されることに危機感をもっている。亀岡市桂川改修促進期成同盟としても機会あるごとに上下流域の河川整備に協力するとともに、過去、何十年、何百年水害と治水の歴史、「痛み」を風化させることなく伝えていく努力をしていきたいと考えている。 今後は、上流沿川住民の意見を聞く場を設定されるようお願いする。
9	大阪自然環境保全協会 岡秀郎氏	×	2/6	余野川ダムに対するご意見が寄せられました。 別紙3参照下さい
10	東野更正氏	×	2/12	会議開催場所についてご意見が寄せられました。 南湖に偏らず北湖の方で開催されるのも住民の関心を深めるのには良い機会だと思います。
11	平山紘一郎		2/13	ご案内頂きました2月19日開催の琵琶湖部会の傍聴を希望致します。 意見聴取、会議とも傍聴を希望します。意見は特にありませんが、琵琶湖のスポーツフィッシングの何らかの規制が必要と思います。理由は生態系の維持のためです。
12	片淵ふさ子	×	2/13	淀川源流の一つである琵琶湖に注ぐ野洲川の上流域に、滋賀県は90万リュウベモの産廃最終埋立場を造ろうとする件に異議を唱える環境にこだわっている1甲賀町民です。今まさに、この事業の環境影響評価準備書が作られ、知事の意見書が出されようとしています。管理型ゆえどのような物が捨てられるか知れず、シートが破れたならば地下水汚染はまぬがれません。少しでも汚染を少なくする為の下流域の方々に以下の点を行政に要求していただきたい想いです。 1 周辺住民が施設の建設是非を言う機会が無く、初期に計画アセスをするべきでは。 2 上流にどうしても造るなら、13品種混ぜ込まないで、単一種類のみの保存場所という位置づけをし、他に12箇所造ることで河川への影響を少なくして欲しい。 3 産廃排出事業所は、1日1種類のみとする。産廃運搬業者は、1種類のみを契約し運搬車の中は他の種類を載せてはならないとすることで、循環型社会の構築を進める。 4 埋め立て物の安全性を高める為に汚泥・燃殻・煤塵・飛灰を固形スラグ化する。 5 処分場からの浄化処理水は公共下水道へつなぐ方向を考えているが、下流側として、安易につなぐことで、監視の目が届きにくくなるのでは？と心配します。 6 環境アセスにおいて調査し、評価した人の名前が明示されていない為、評価

	発言者 所属等	傍聴 希望	受取日	内 容
				<p>結果に信頼性を認められない。準備書に汽水に棲む生物が記されており、山の多い地に認められるのはおかしいと、環境審議委員が言ったところ、再調査をして、いませんでした、前のは同定の間違いでしたとなりました。前に調査した人の方が正しかったと思います。一つ目の処理場からの処理水は電気伝導率 2900 と測定されていますから。環境アセスには、調査・評価者の記名をするべき。(そうでないと責任者不在の単なる環境アワセメントにすぎない。)</p> <p>産廃関係では以上のような事を訴えたいし、他の事では、農業に関し除草剤殺虫剤の使用を減らす取り組みには、何らかのメリットを与えて欲しい。ただ滋賀県では「環境こだわり農産物」の認証制度を作り、農協に進めるように通達したという、妙な事をやっている為(農薬を売る側に農薬を控える事を農家に進めろたって、言いませんよね)実行者がいないようです。又、ゴルフ場については、信楽では障害者が多いと言う人があります。甲賀町にも、4 箇所ありますが、中でも近くのフジスタジアムでは、蛭や他の動物が居ますよ、と環境配慮を誇示している下流に、電気伝導率 650 程の赤茶色の濁った水を排出しています。先だっては、活性炭の粒が真っ茶になったようなものが上に固まっていました。大阪府・京都府は滋賀県に大金を出していると聞きます。ご自分たちの飲み水の質を向上させるために上流で何が問題点なのかを自らの目で、ワッチングして、県に申し入れをして下さい。机の上で見る検査結果の値になんら問題が無くても、現実どんな水が排出されているかが問題です。本質を問わない積み重ねが、琵琶湖が綺麗にならず魚に異常を来し、淀川を汚くしている原因になっていると思います。目先の時間とお金に振り回され、未来の子供にとんでもない環境を与えるのでしょうか。叡智ある皆様に期待をしたいところです。</p>
13	藤田政治氏		2/14	<p>琵琶湖水質保全構想についてご意見が寄せられました。 別紙 4 を参照下さい。</p>

